

池田土木事務所管内の府営公園



- 市街地部に立地
- 郊外部に立地
- 山麓部に立地
- 臨海部に立地

箕面公園

服部緑地



箕面公園

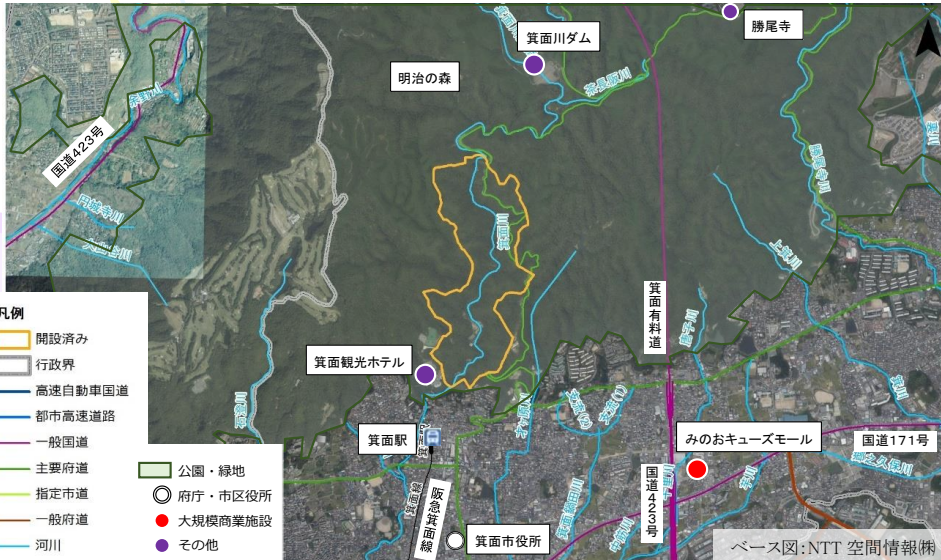
■概要

古くから滝と猿、溪流と楓で知られ、明治の森箕面国定公園内にあり、名勝箕面山指定及び野猿生息地として天然記念物に指定されている。多様な植物と昆虫の宝庫として、春は新緑、夏は納涼、秋は紅葉と四季折々に装いを美しく替え、騒音や煙埃から離れて美しい自然に接することができるため、府民のレクリエーションや自然観察の場として、また観光地としても親しまれている。滝道沿いにある昆虫館には全国でも有数の昆虫標本のコレクションが展示され、年間を通じてチョウが舞う放蝶園は来館者の人気を集めている。

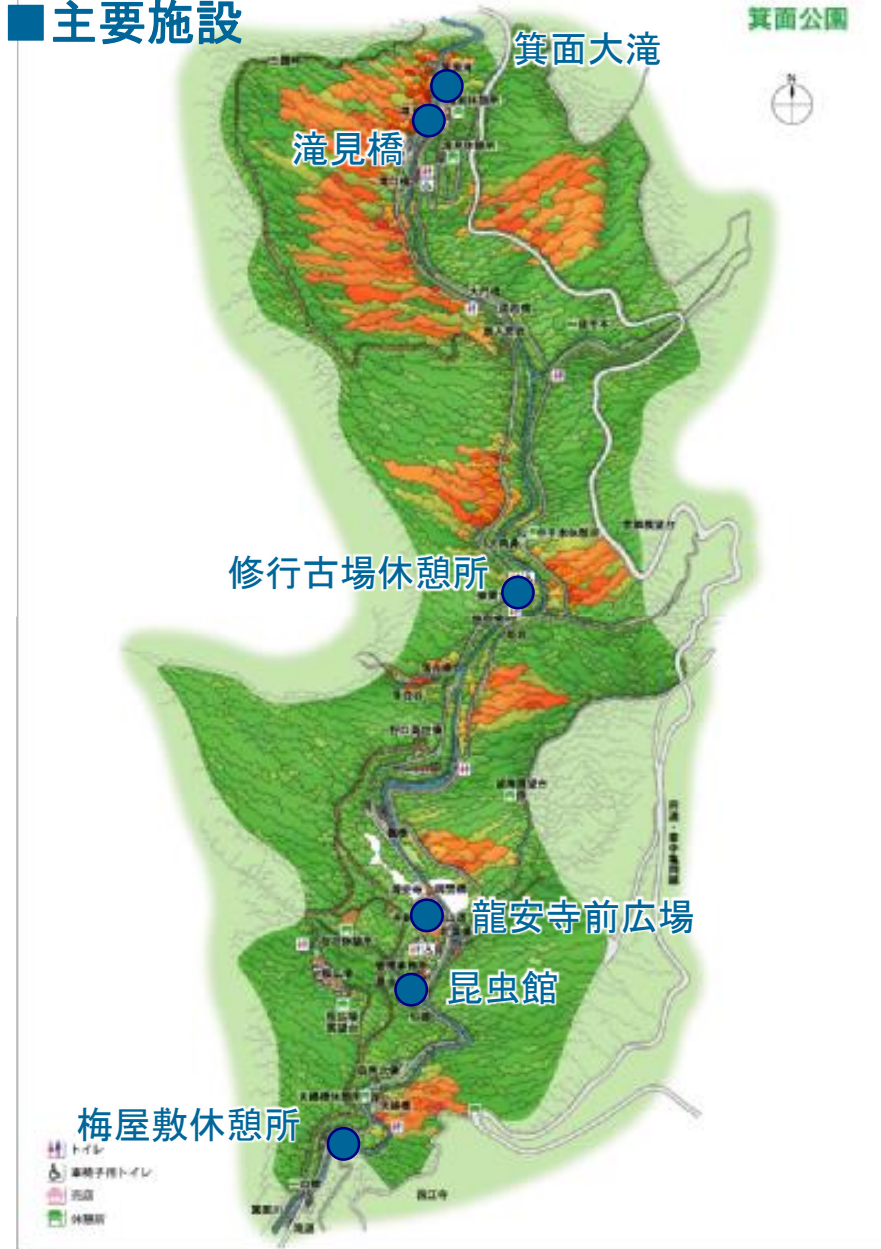
■開設面積: 83.8 ha

■開設年月: 明治31年5月

■立地特性



■主要施設



箕面公園

■ 主要施設(1) 昆虫館

◆ 特色

- 箕面山の自然や昆虫について学べる施設
⇒ 標本を活用した魅力ある企画展の開催。
⇒ 放蝶園を活用した生態展の実施。
- 昆虫に関するイベントの実施
⇒ 昆虫ふれあい体験イベント、標本作成イベントなど
- 研究機関としての活動
⇒ 大学等の研究機関、他の博物館等との連携



■ 主要施設(2) 梅屋敷休憩所

◆ 特色

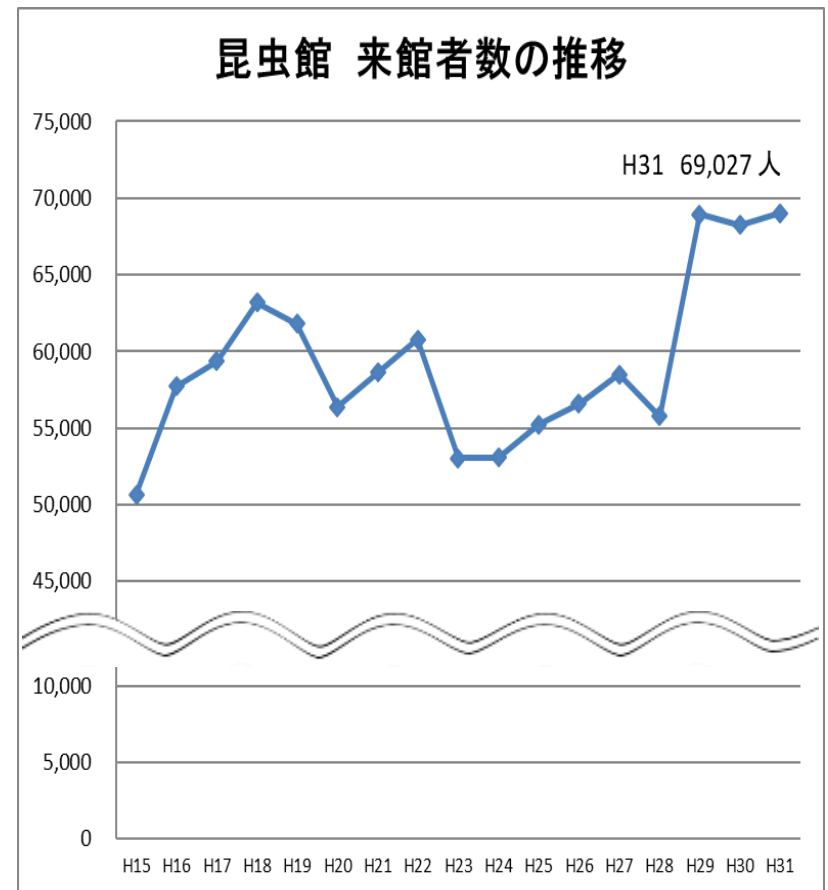
- 昔のお茶屋を再建
⇒ 「風情」を守るため、外観とともに家屋内の網代造りの天井まで、当時の姿を再現
- イベント等で活用
⇒ 箕面公園川床、サマーフェスタ、みのおこうえん寄席等、様々なイベントの会場として利用



箕面公園

■利用状況(年間推移)

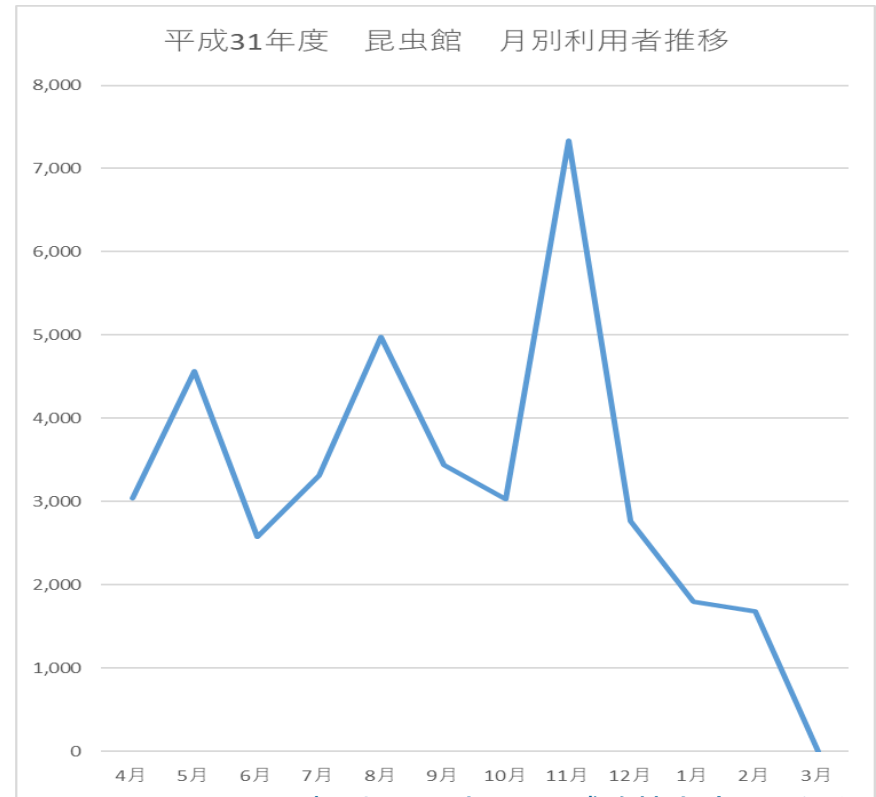
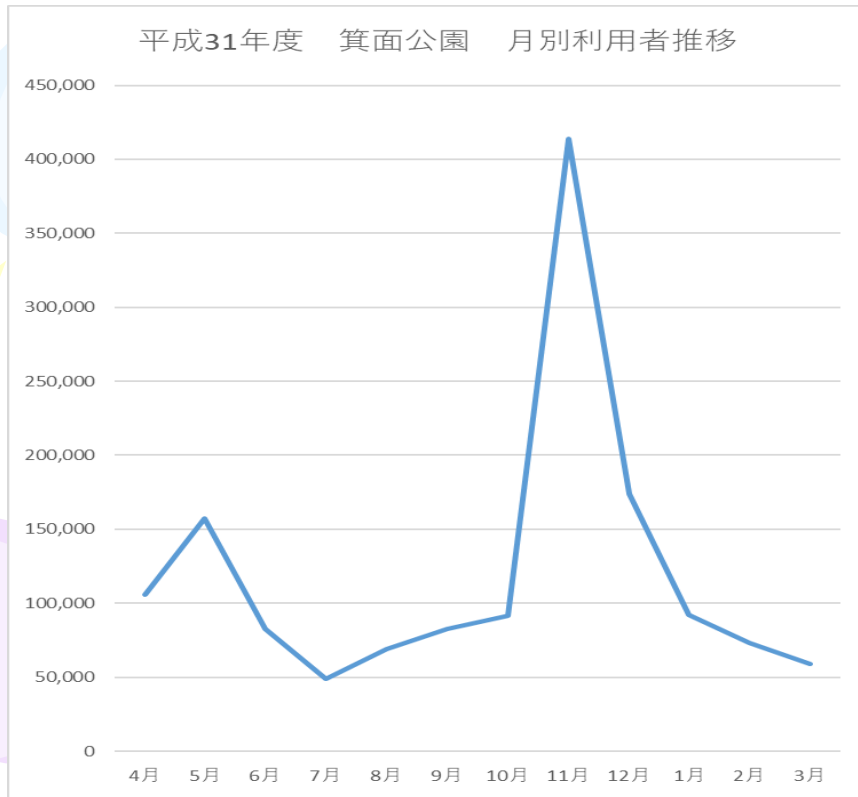
- 平成31年度は、約145万人／年が箕面公園に来園し、増加傾向にある。
- 昆虫館については、指定管理期間開始後は年間1.5万人増加している。



箕面公園

■利用状況(月別推移)

- 月別の推移を見た場合、紅葉シーズンの11月に来園者のピークを迎え、年間の約3割に相当する約40万人が紅葉時期の11月に来園している。
- 箕面公園と昆虫館の来園者数には、相関関係がみられるが、8月の夏休みシーズンには、昆虫館を目当てに子供連れの来園者が増加していると考えられる。



※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年2月29日から昆虫館を閉鎖

箕面公園

公園の管理上の課題

◆倒木対策

- 山間部に位置し、樹木に囲まれた公園であることから、台風災害・洪水災害に向けた倒木対策が重要。
 - ⇒指定管理者の日常点検や府による専門点検により危険木を適宜調査、対応。
 - ⇒H30年度台風21号により500本の倒木が発生。台風罹災～11月1日まで滝道通行止を実施。

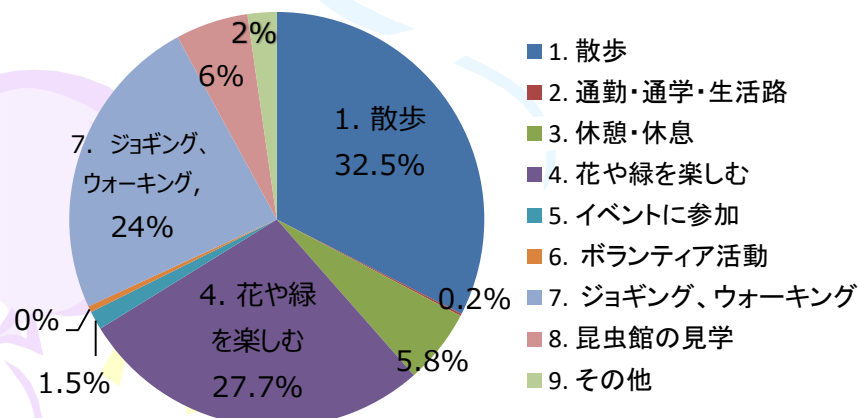
◆落石対策

- 台風等風水害の際に落石が多発。
 - ⇒落石防護網にたまった土砂等の除去。
 - ⇒日常点検において小修繕を順次実施。
 - ⇒落石等発見時には直ちに通行止により安全確保。

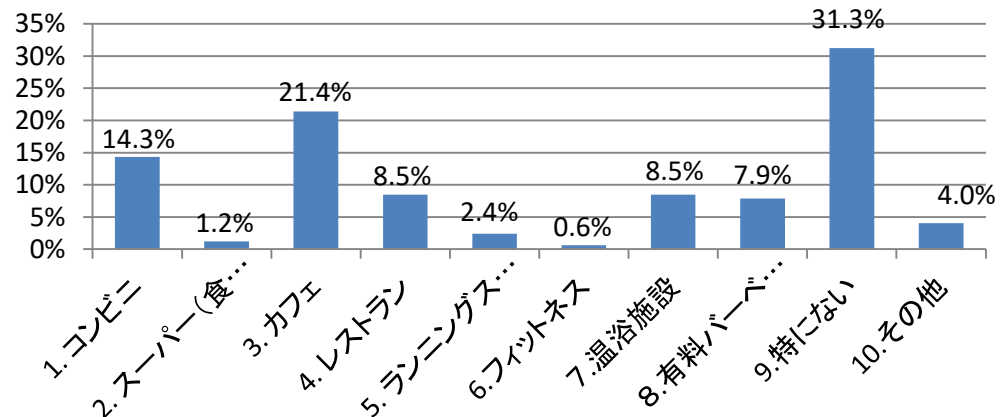


公園満足度調査結果(令和元年度実施)

○公園の利用目的



○新たに欲しい施設



枚方土木事務所管内の府営公園



市街地部に立地



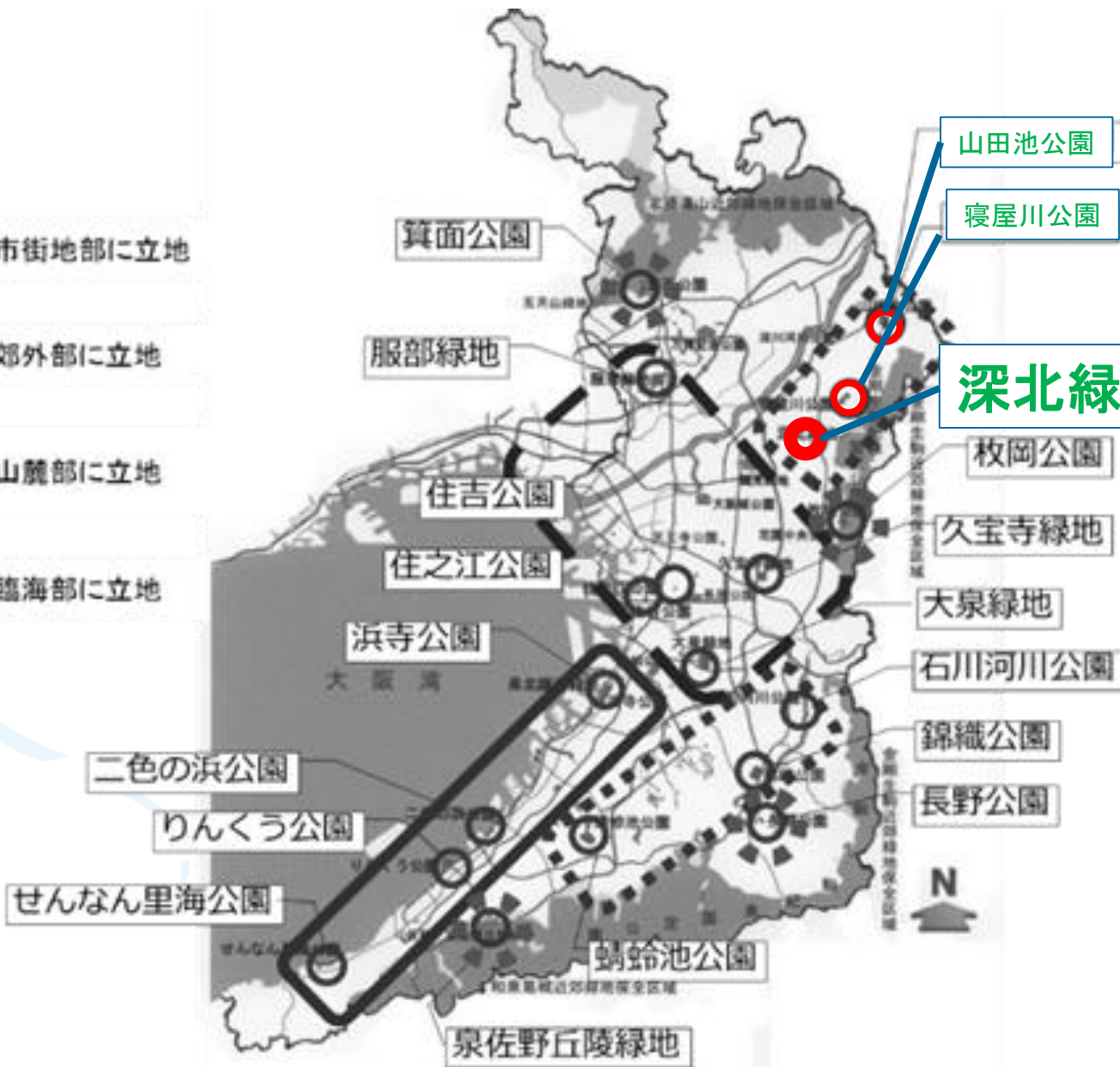
郊外部に立地



山麓部に立地



臨海部に立地



深北緑地

■概要

寝屋川市、大東市の両市にまたがり、寝屋川、江蟬川、権現川に接し、寝屋川水系の洪水被害を防ぐため、洪水調整機能を備えた多目的遊水地公園として整備された。湛水頻度により、次の3つのゾーンに分かれる。

①水辺のゾーン:

3~5年頻度で湛水、減勢池「深野池」を設置

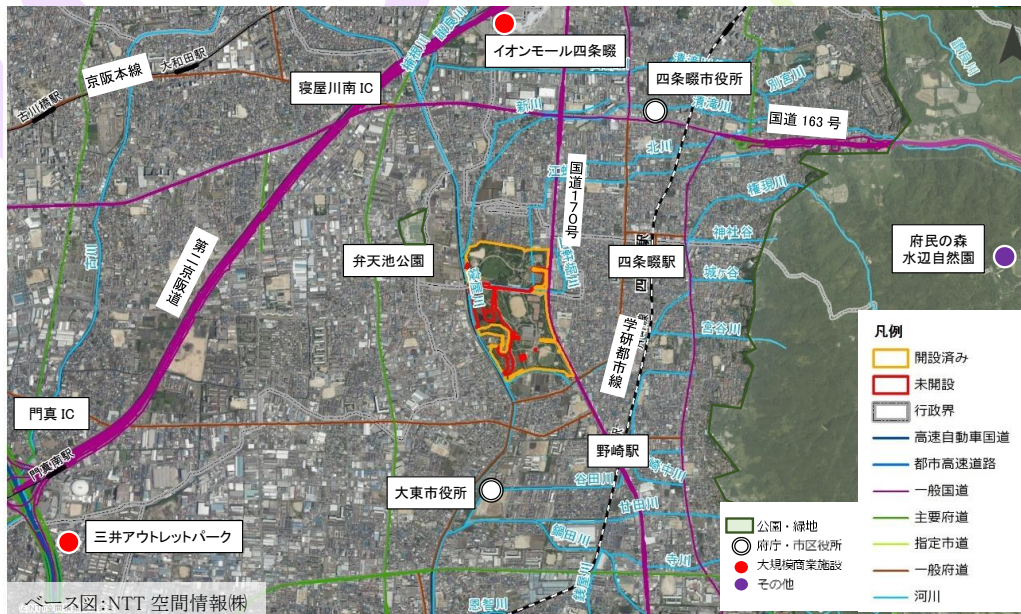
②ふれあいゾーン:10年頻度で湛水

③スポーツゾーン:30年の頻度で湛水

■開設面積:41.0 ha

■開設年月:平成3年11月

■立地特性



深北緑地

■ 主要施設(1) 恐竜広場

◆ 特色

○海をイメージした広い砂場に遊具を配置

○主要遊具:恐竜滑り台、難破船(複合遊具)



■ 主要施設(2) ロケット広場

◆ 特色

○コンセプトは未来の冒険・宇宙旅行

○主要遊具:大型ロケット複合遊具、ロープジャングル、ユニバーサル遊具や幼児遊具



■ 主要施設(3) 波の広場(スケートボード)

◆ 特色

○ゆるやかな斜面やスタート台があり、無料でスケートボードで遊べる広場



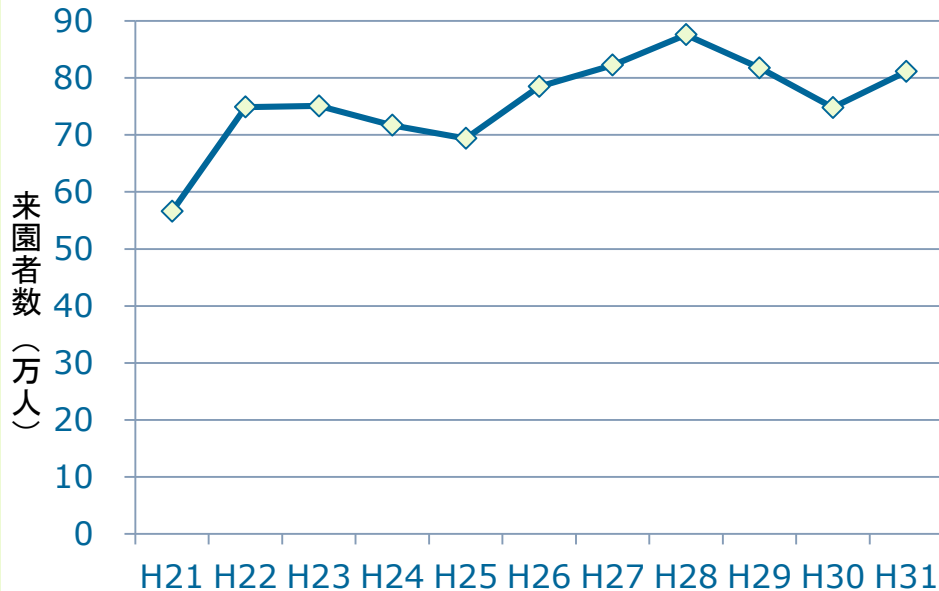
深北緑地

【利用状況】

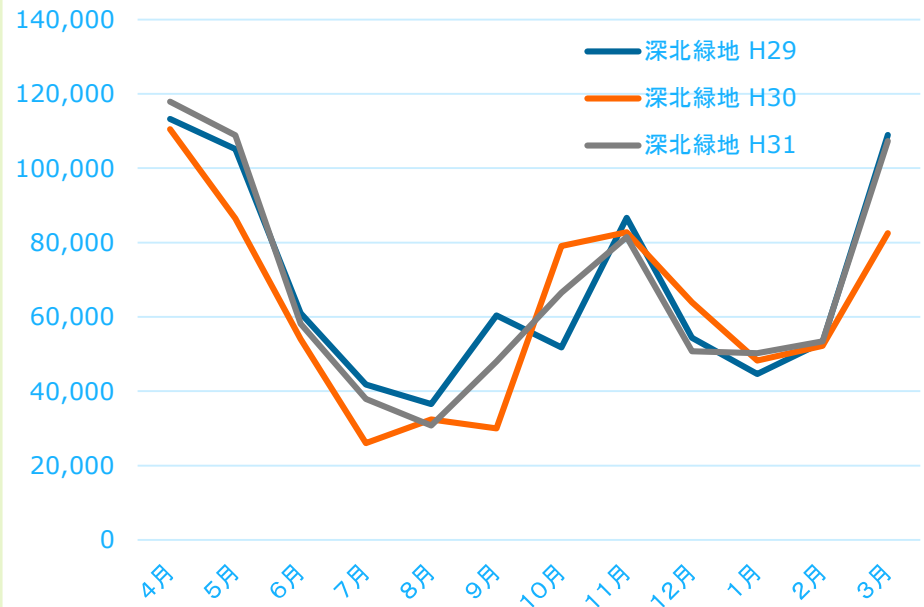
○年間約80万人が来園。

○児童遊戯場や園内散策、スポーツ施設の利用など幅広い年齢層が利用。

来園者数の推移(H21~H31)



H29~H31 利用者動向



深北緑地

■ 公園の管理上の課題

◆ 多目的遊水地での樹木管理

○園内の冠水等、急激な環境変化による樹木が育ちにくい環境であるが、環境変化に配慮した適正かつ計画的な樹木管理を行う。

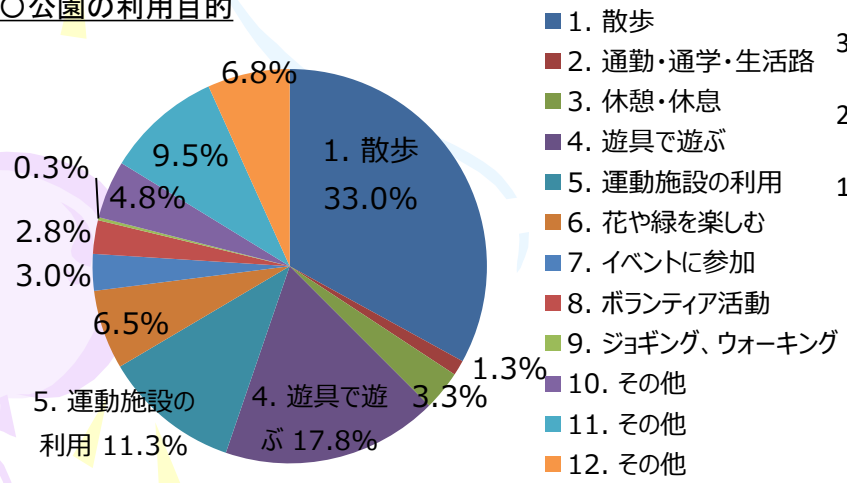
◆ 無料で利用できるスポーツ施設や遊戯施設の管理

○マウンテンバイク・BMX・スケートボード・ストリートバスケット、ドッグラン、大型遊具が、無料で利用できるため、利用ルールを守り、利用者同士、地域住民との意見調整をしながら円滑な管理運営が求められる。

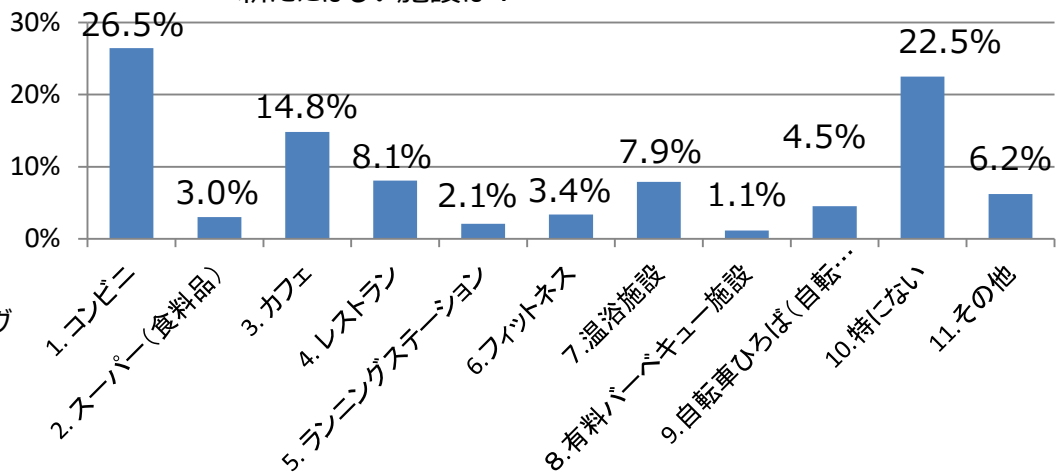


■ 公園満足度調査結果(令和元年度実施)

○公園の利用目的



新たにほしい施設は？



八尾土木事務所管内の府営公園



市街地部に立地



郊外部に立地



山麓部に立地



臨海部に立地



枚岡公園

■概要

生駒山系の山麓に位置する森林公園として、比較的急峻な地形にクヌギ、コナラを主体とした山林に覆われ、枚岡梅林のウメをはじめ、園内各所のサクラ類・ツツジ類、暗溪のモミジ等、山の四季の移ろいを楽しむことができる。暗溪をはさんで北に額田山、南に枚岡山があり、それぞれの展望台からは河内平野から大阪城、遠くは明石海峡大橋や六甲の山並みを一望することができる。枚岡公園から生駒山上に至る摂河泉展望コース、「府民の森」なるかわ園地に至る神津嶽コースなどのハイキングコースの玄関口として、また市街地に隣接した身近な森の遠足地として、人気がある。

■開設面積: 43.8 ha

■開設年月: 昭和13年2月

■立地特性



■主要施設



枚岡公園

■ 主要施設(1) みんなの広場

○芝生でかけっこ・遊具で楽しむ広場

⇒遠足児童を含めた公園利用者のエントランスとなる広場であり、斜面の多い山の公園のなかでも、お弁当を広げたりかけっこができるゆったり広い芝生広場。
クライミングウォールや、街への眺望が開ける長いスライダーを楽しめる。



■ 主要施設(2) 梅林

○大阪で最も古い梅林

⇒明治9年、地元有志が枚岡神社に土地を寄付し、神社所有地と合わせて梅園を造成。都市近郊の梅林として、多くの府民に親しまれている。

○ウメ輪紋ウイルスによる皆伐 ⇒ 再オープン

⇒平成27年6月にウメ輪紋ウイルスが発見されたことを受け伐採。令和元年度に大阪府が基盤整備、令和2年度枚岡神社が植樹(梅200本)を行い再オープンする。



■ 主要施設(3) 額田山展望台

○大阪の市街を一望できる展望台

⇒大阪平野のほぼ全域を一望することができる絶景スポット。
阿倍野ハルカスや大坂城はもちろんのこと、晴れた日は、北摂連山や六甲の山並みも眺望できる。

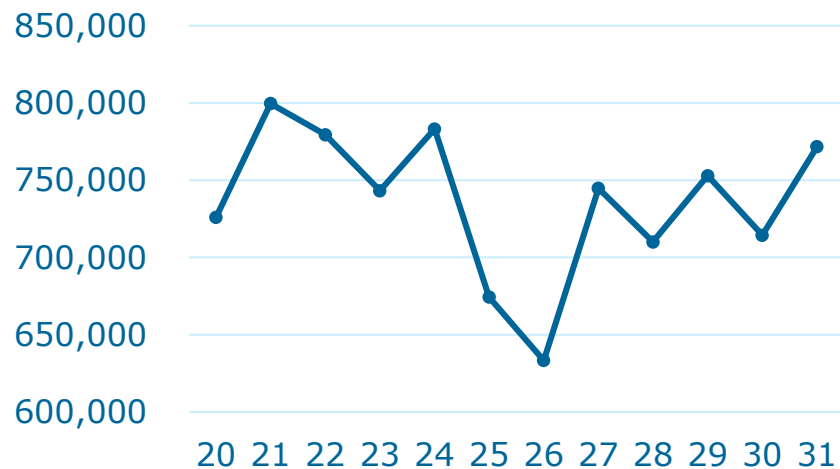


枚岡公園

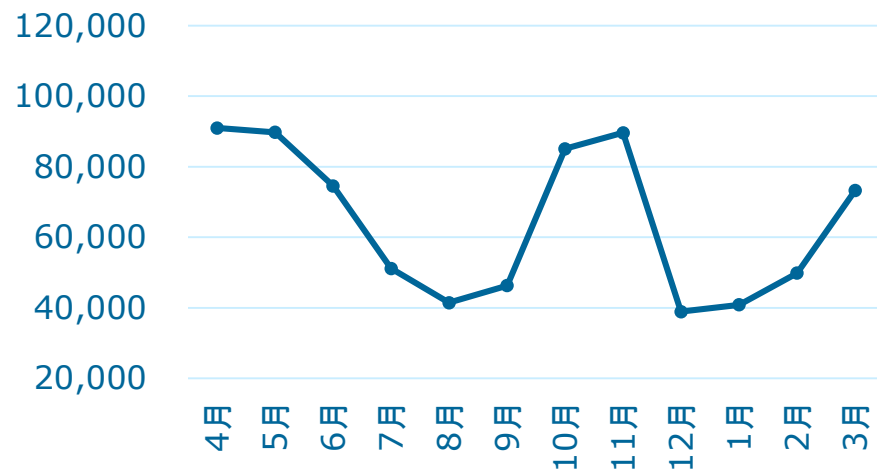
■利用状況

- 年間約75万人(直近3カ年平均)が来園。最近5年間は横ばい傾向。
- 令和2年4月から11月までの来園者数は、前年同期と比べて23%も増加。
(新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けていると思われる)
- 園路は隣接する府民の森(ぬかた園地・なるかわ園地)につながるハイキングコースとなっており、年間を通して多くのハイカーが訪れる。
- 春・秋の行楽シーズンを中心に遠足利用が多い。

年度別来園者数



月別来園者数(H31年度)



枚岡公園

公園の管理上の課題

◆倒木対策

○台風等風水害の際に倒木が発生
 近年ではH30年度台風21号では50本の倒木が発生
 ⇒特に、ハイキングコースである額田山コース・枚岡山コースは、常に樹木の状況を確認し、枯木や枝折等を確認した際は、迅速に処置を行う必要がある。



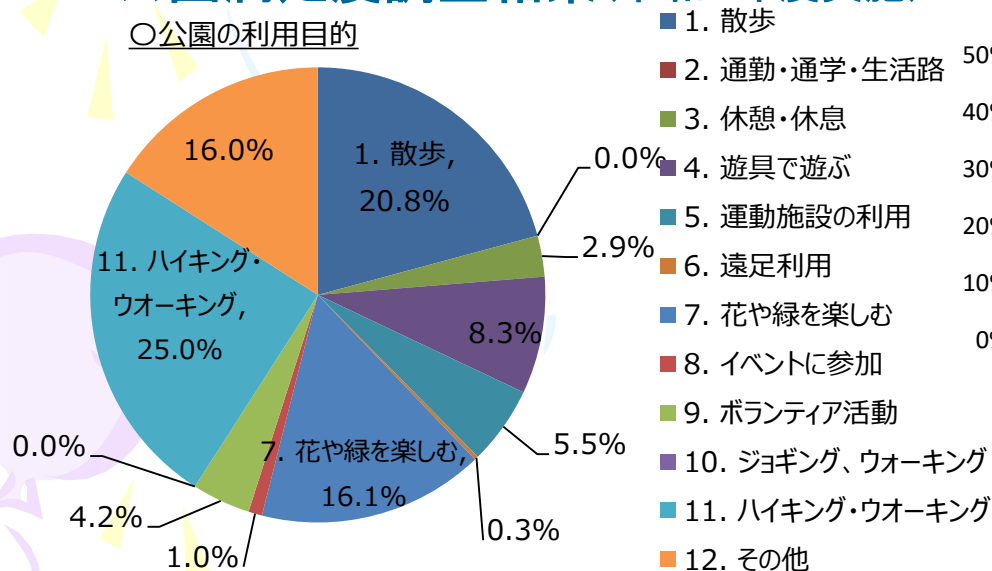
◆落石対策

○台風等風水害の際に落石が発生
 ⇒倒木対策と同様に、常に落石の有無を確認し、適切な処置を行う

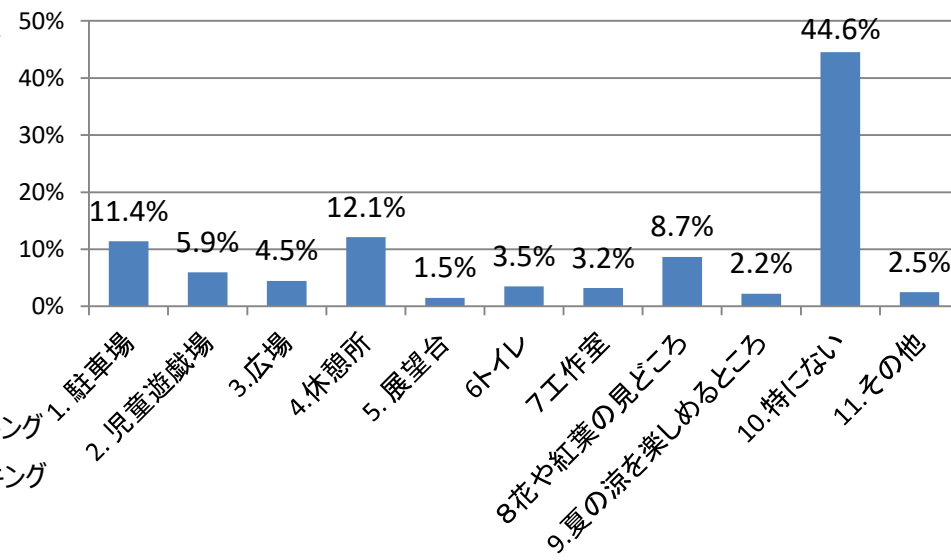


公園満足度調査結果(令和2年度実施)

○公園の利用目的



新たにほしい施設は？



富田林土木事務所管内の府営公園



市街地部に立地



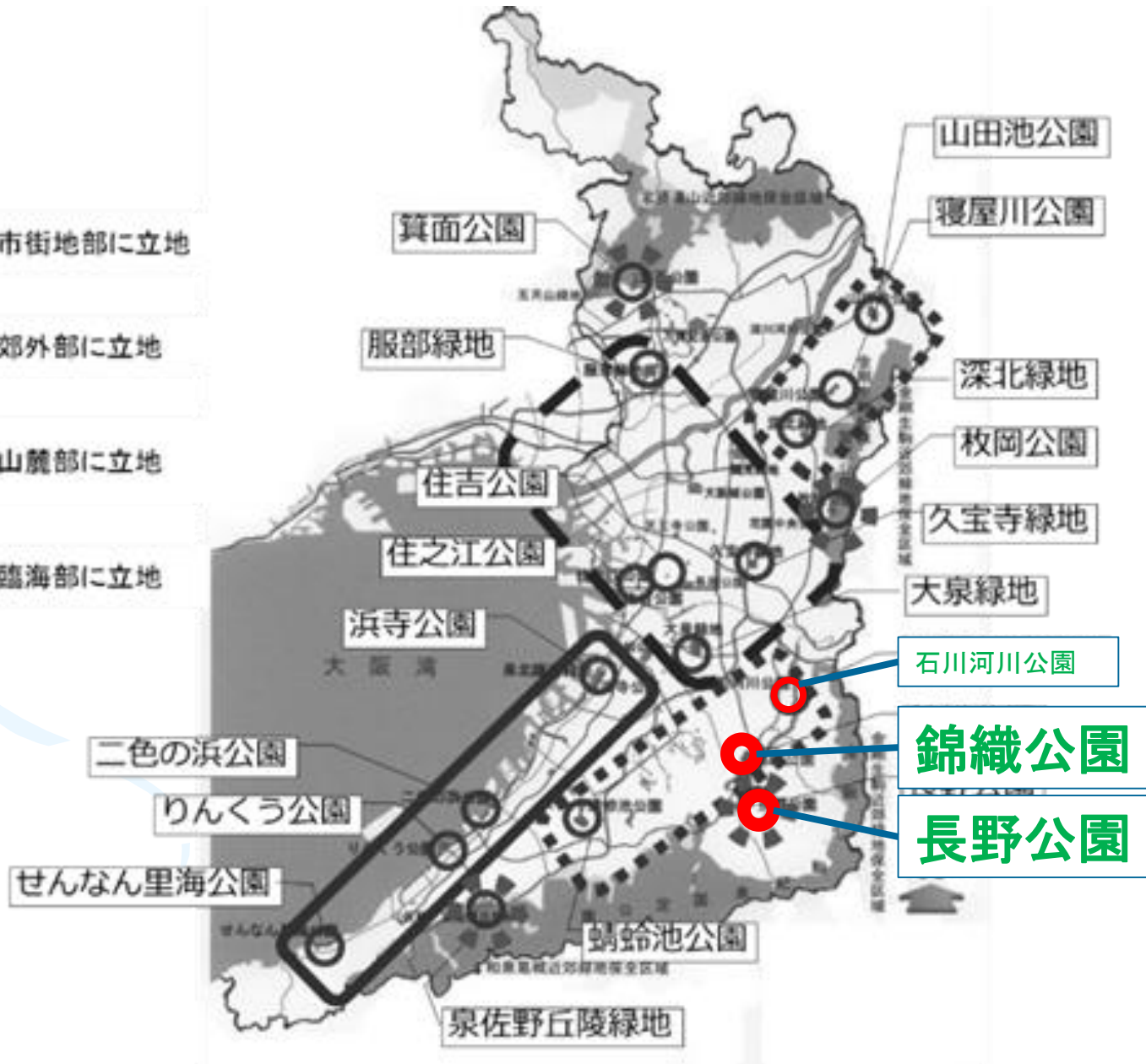
郊外部に立地



山麓部に立地



臨海部に立地



錦織公園

■概要

富田林市に位置する錦織公園は、「なつかしの里山風景を再現し維持する」という計画ビジョンのもと、計画面積72.7haの広さを持つ南河内地域を代表する公園として位置付けられた広域公園である。羽曳野丘陵の面影を残している起伏に富んだ地形、コナラ、アカマツを主体とした樹林地、大小の溜池等の自然地形を積極的に保全し活用を図り、豊かな緑の中で自然とのふれあいの場として昭和62年4月に一部開園をした。都市のスプロール化を想定し、計画的に郊外に配置した結果、現在は周辺を国道170号と住宅地に囲まれた貴重なみどりとなっている。

■開設面積：65.7 ha

■開設年月：昭和62年4月

■立地特性



■主要施設



錦織公園

■ 主要施設(1) 河内の里

◆ 特色

○ 里山風景を再現

⇒『里山ゾーン』は昔の農家の建物とともに、米、綿、茶等を栽培し、南河内の里山の風景を再現
また、レンゲツツジ等8種のツツジを植えた『つつじの丘』、『山辺の道』、『野辺の道』で構成

○ 見るだけでなく、体感してもらう施設

⇒農業体験講座、藍染め体験、綿摘みと糸紡ぎ体験等の体験型イベントを多数開催

■ 主要施設(2) 遊戯場

◆ 特色

○ 『水辺の里』、『やんちゃの里』の広々とした遊戯場

⇒大型複合遊具が多数存在し、遊びのバリエーションが豊富
斜面地を利用した滑り台も人気で、大型休憩所も設置されている



里山ゾーン



つつじの丘



やんちゃの里

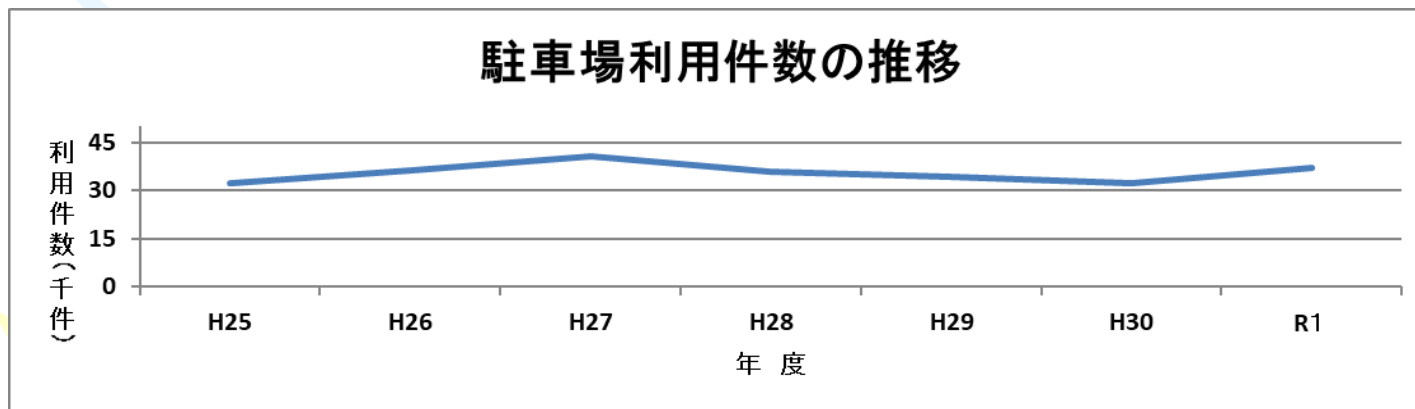
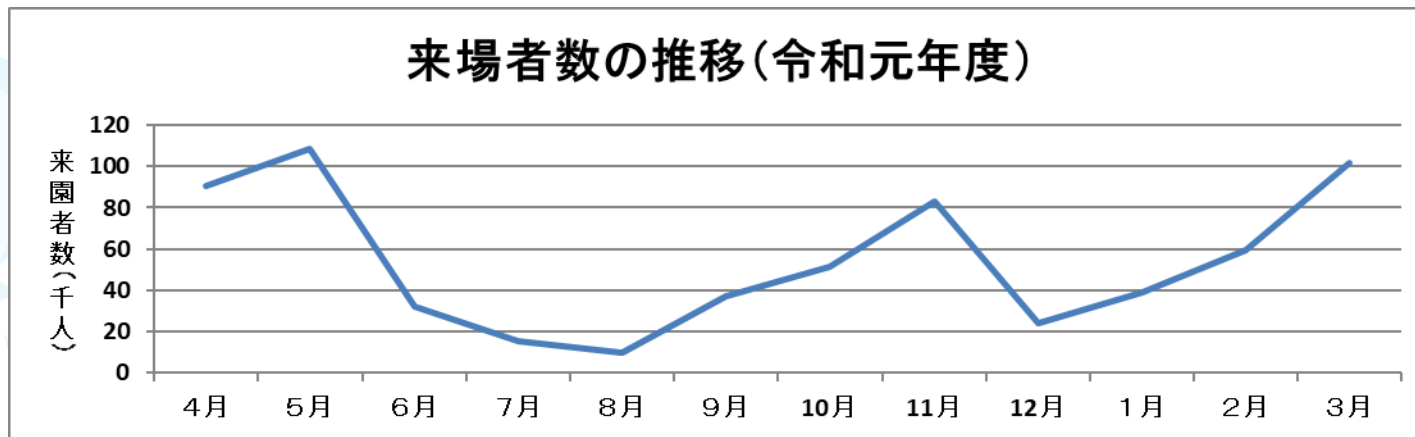


水辺の里

錦織公園

■利用状況

- 令和元年度は、約65万人／年が錦織公園に来園しており、来園者数は横ばいである。梅・桜・つつじ・シャクナゲ等、花の時期の来園が多い。
- 駐車場利用件数は約35000件／年であり、横ばいである。



錦織公園

公園の管理上の課題

◆ナラ枯れ対策

- 近年ナラ枯れの被害が発生している。
→行政や研究機関等との情報共有、被害の把握、危険木の処理等の対応が必要

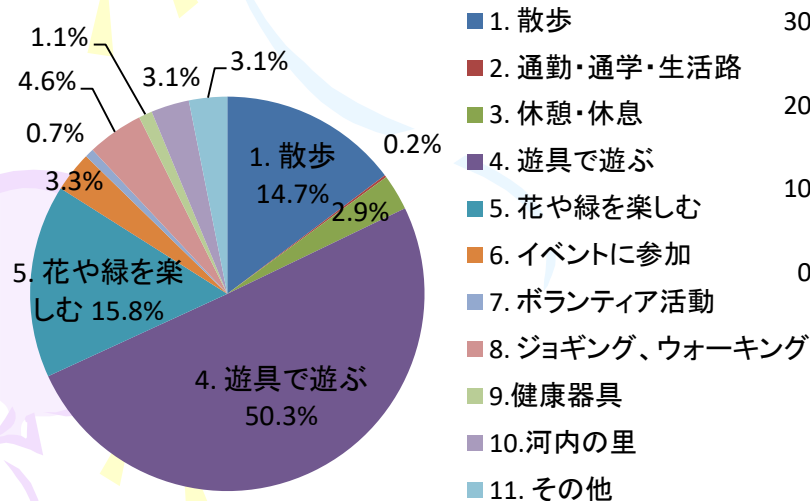
◆パークセンター及び南エリアの活性化

- 常設展示物が更新されず固定化、施設の利用頻度も高くない
- 地域の魅力アップを図るための情報発信拠点として季節ごとの公園の見どころや写真展、ミニイベントの開催等の活性化が求められる

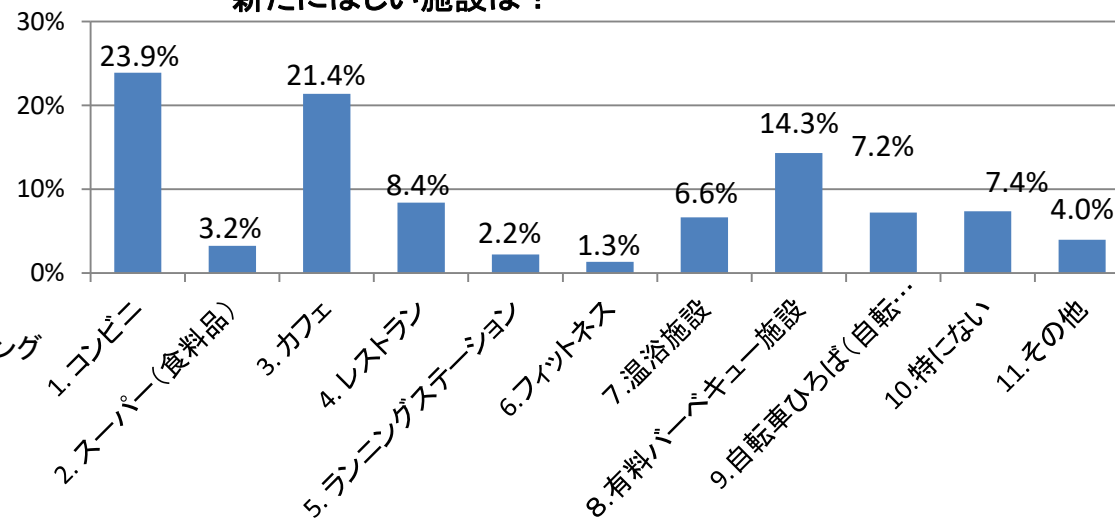


公園満足度調査結果(令和元年度実施)

○公園の全体的な満足度



新たにほしい施設は？



長野公園

■概要

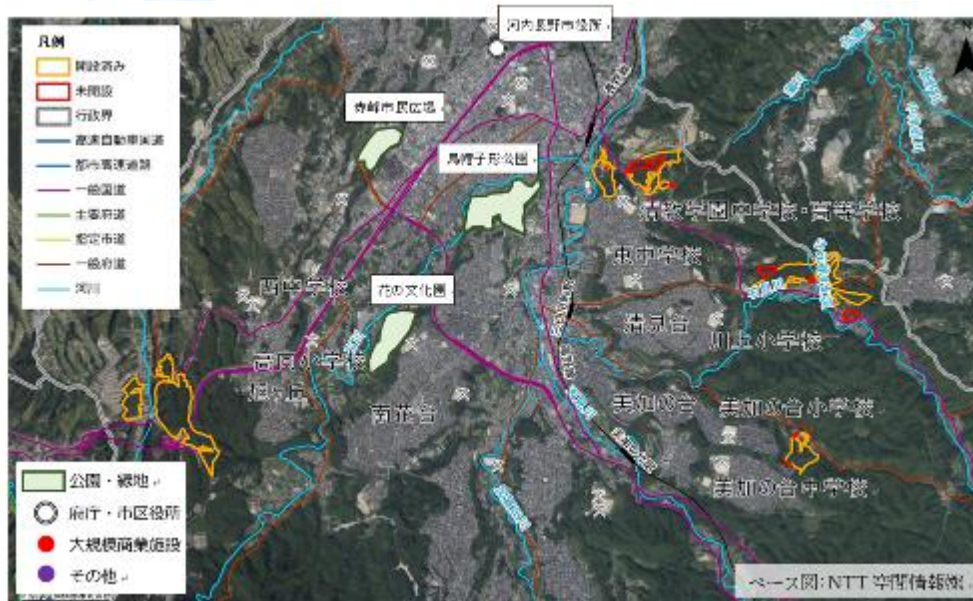
長野公園は大阪府南東部、金剛山山麓の南側に位置する。昭和26年10月に旧長野遊園地跡の長野地区、河合寺地区、観心寺・丸山地区、天野山地区の4地区が長野公園として開設され、昭和32年10月に新たに延命寺地区が編入、5地区となった。全面積約46ha、これらはいずれも楠木一族南朝ゆかりの遺跡の多い所である。

本公園は、府内でも数少ない、自然を生かした展望の素晴らしい公園である。

■開設面積: 46.3 ha

■開設年月: 昭和26年10月

■立地特性



■主要施設

奥河内楠公の里(観心寺・丸山地区)



奥河内あじさい公園(河合寺地区)



長野公園

■主要施設

奥河内さくら公園(長野地区)



奥河内天野キャンプの森
(天野山地区)



奥河内もみじ公園(延命寺地区)



長野公園

■ 主要施設(1) 蓮池(延命寺地区)

◆ 特色

○ 自然の豊かさを楽しめる

⇒ 春は桜、初夏は新緑、夏は蓮(千重紅)、秋は紅葉、冬は雪景色と日本の四季を存分に楽しむことができる

○ コーヒー販売を実施

⇒ 利用者サービスの向上として、紅葉の時期は近隣施設と協力し、コーヒー販売を実施

蓮(千重紅)



蓮池と紅葉



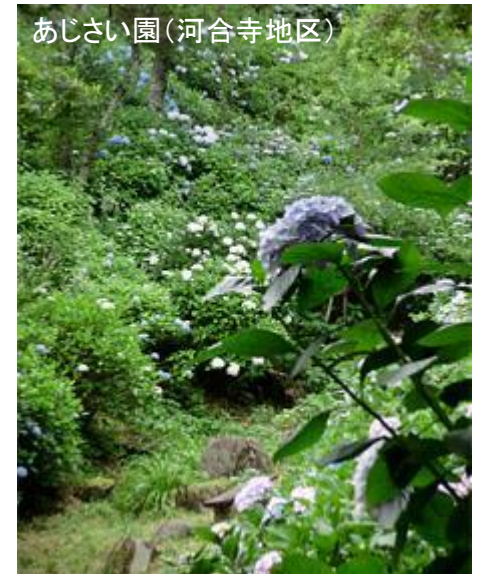
■ 主要施設(2) あじさい園(河合寺地区)

◆ 特色

○ 季節に応じた美しさが楽しめる

⇒ 約5千本ものあじさいが植えられ、梅雨の季節を鮮やかに彩るあじさいの時期以外にも、春には桜、秋には紅葉と季節に応じた自然の美しさが楽しめる

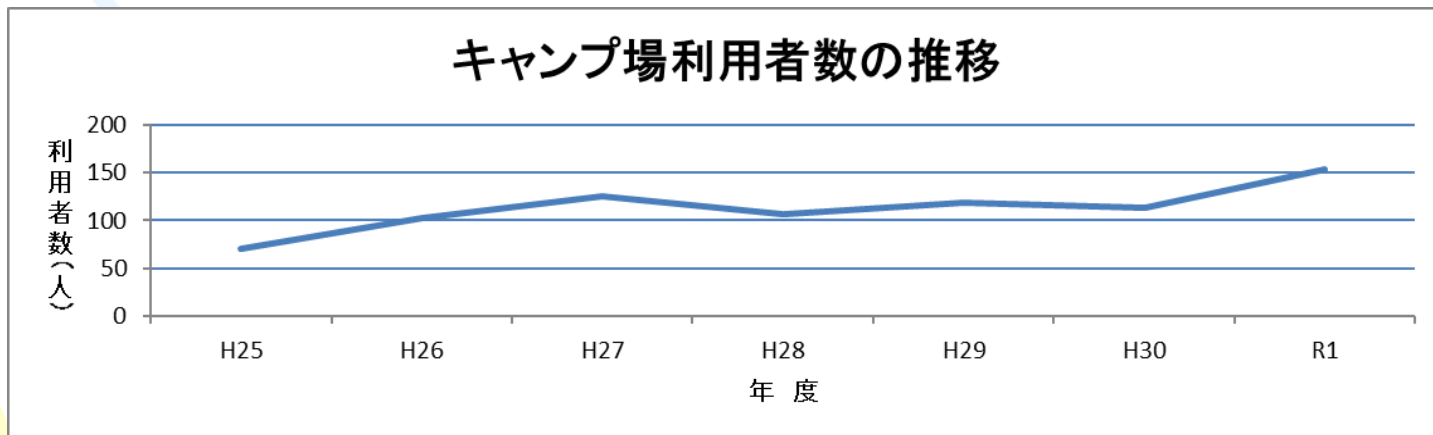
あじさい園(河合寺地区)



長野公園

■利用状況

- 令和元年度は、約24万人／年が長野公園に来園し、増加傾向にある。
また、約3割に相当する約8万人が桜の時期の4月に来園している。
- キャンプ場利用者は、年々増加傾向にある。



長野公園

公園の管理上の課題

◆蓮の維持管理

○近年、アメリカザリガニ等の摂食被害により衰弱が見られる
⇒人力、捕獲器等を使用し、継続的に捕獲等の対応が必要

◆倒木、危険木対策

○台風等風水害の際に倒木が多発
○5地区のほぼ全域が樹林地であり、
園路・通路等に倒木被害等を及ぼす危険木対策が必要

◆住居兼売店の存在

○民間売店が奥河内さくら公園(長野地区)の中央部に存在
(民地内)



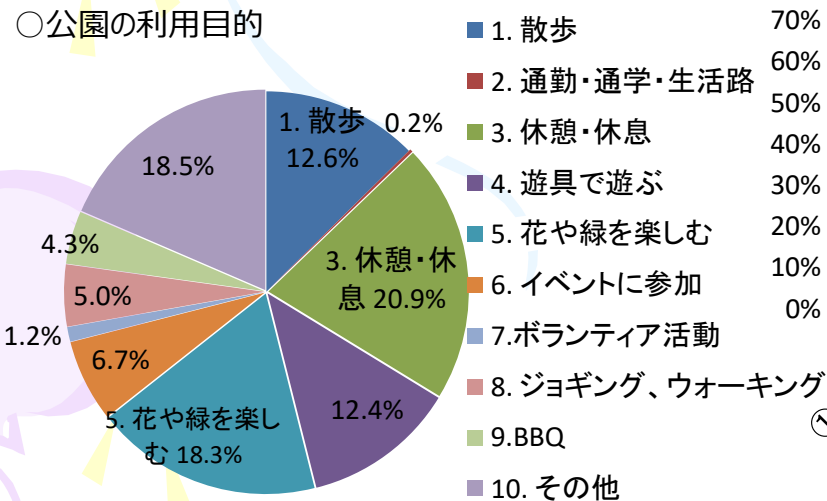
蓮の維持管理



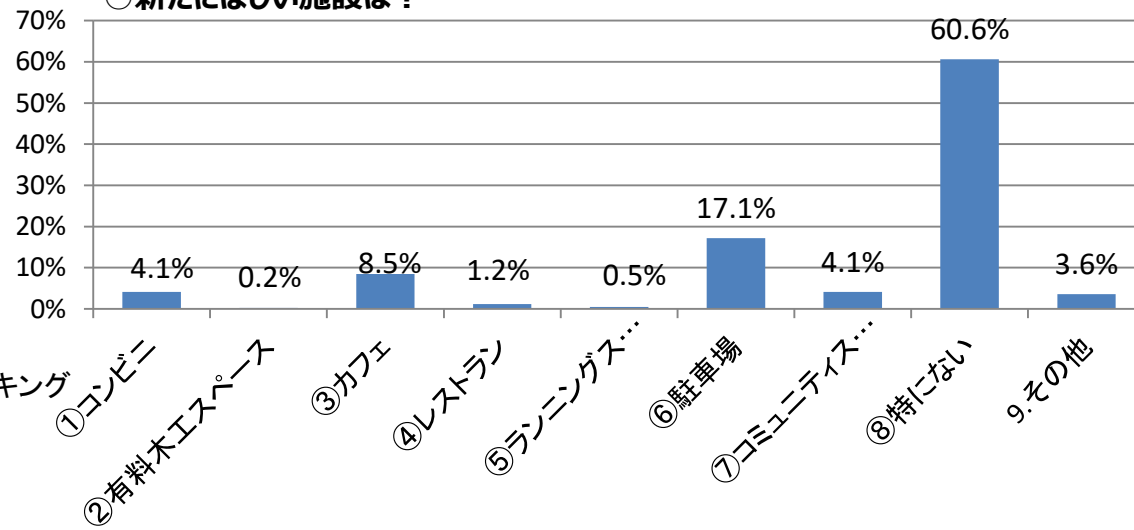
住宅兼売店

公園満足度調査結果(令和元年度実施)

○公園の利用目的



○新たにほしい施設は？



鳳土木事務所管内の府営公園

- 市街地部に立地
- 郊外部に立地
- 山麓部に立地
- 臨海部に立地



住之江公園

■概要

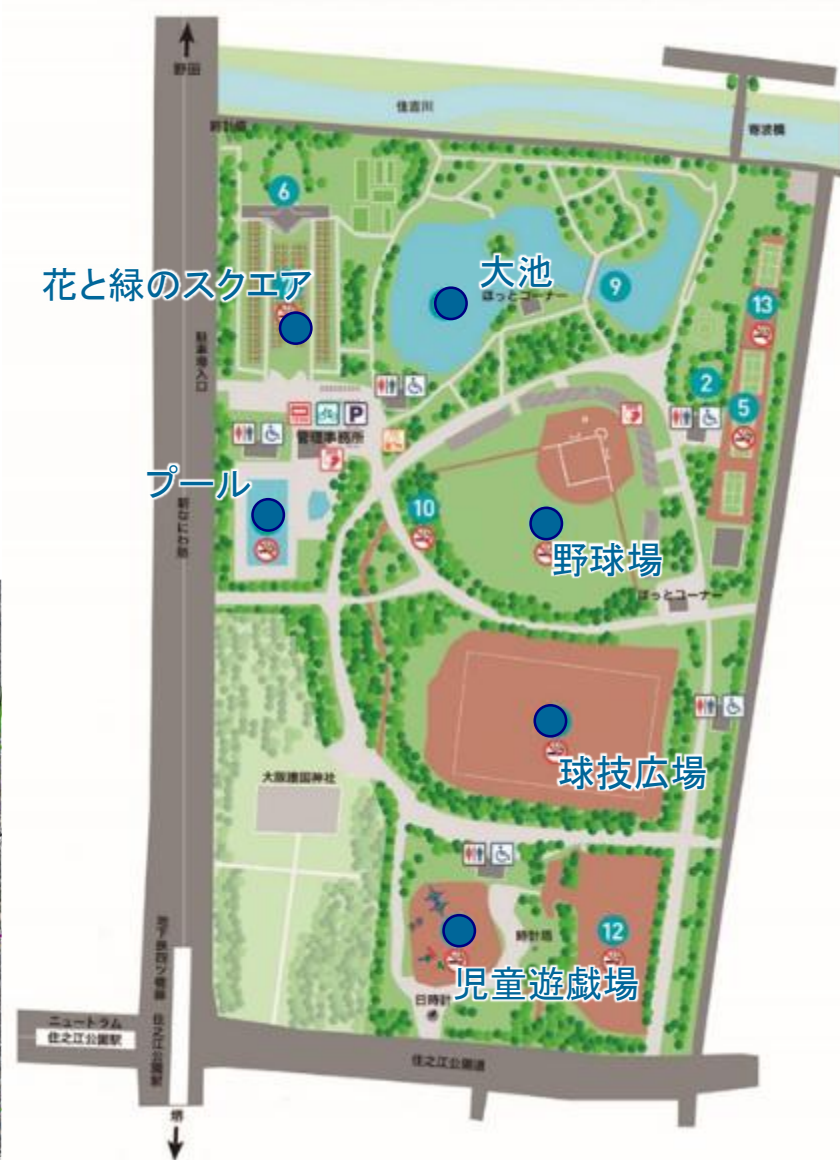
住之江公園は、大阪市の南西部に位置し、昭和5年に4番目の府営公園として開設された。面積は15.1haと住吉公園に次いで小さいながらも、交通の便が良く、野球場をはじめテニスコート、プールそして球技広場などの運動施設があり、「花と緑のスクエア」では四季折々の草花が楽しめる公園として親しまれている。

■開設面積: 15.1 ha

■開設年月: 昭和5年10月8日

■立地特性

■主要施設



住之江公園

■ 主要施設(1) 花と緑のスクエア

◆ 特色

- 公園の核となる施設であり、幾何学模様の沈床花壇を中心に、四季を通じて継続的にバラや草花を美しく鑑賞出来る「花苑」
- 多様な花々が色彩も豊かに咲く修景を維持し、景観上の配慮をはじめ公園利用の快適性や安全性を考慮しながら、主要施設に相応しい維持管理が必要
- 現在は、冬期にイベントやライトアップを行うなど運営面でも工夫を行っている。



■ 主要施設(2) 野球場

◆ 特色

- ナイター設備とスコアボードを備えた黒土と芝生の本格的野球場。
- 例年、夏と秋には全国高等学校野球選手権大会の会場として使用。



住之江公園

■利用状況

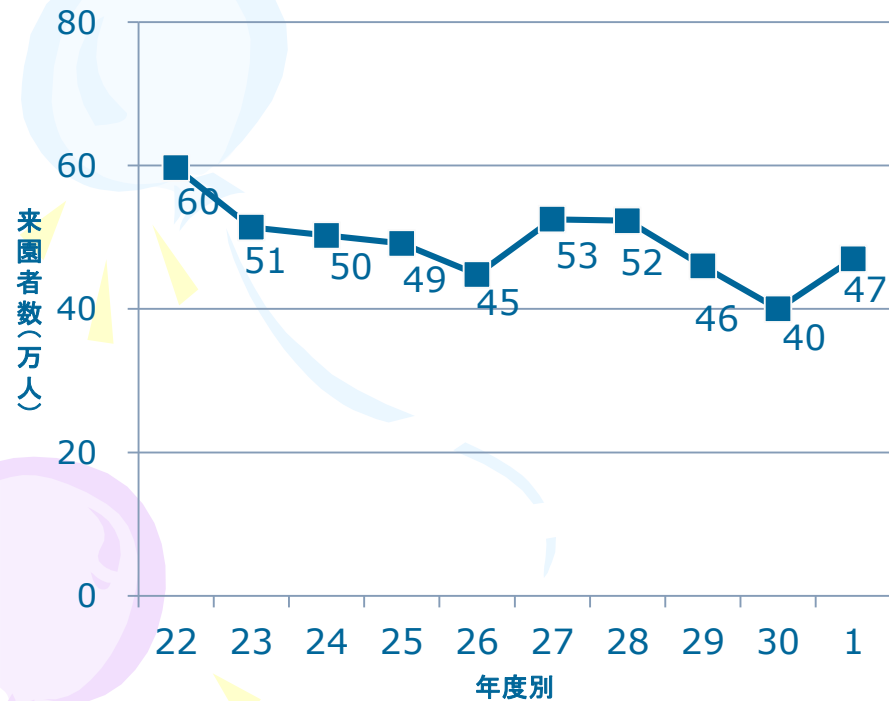
○年間約50万人の来園者数

7・8月の利用(プール)が特に多い

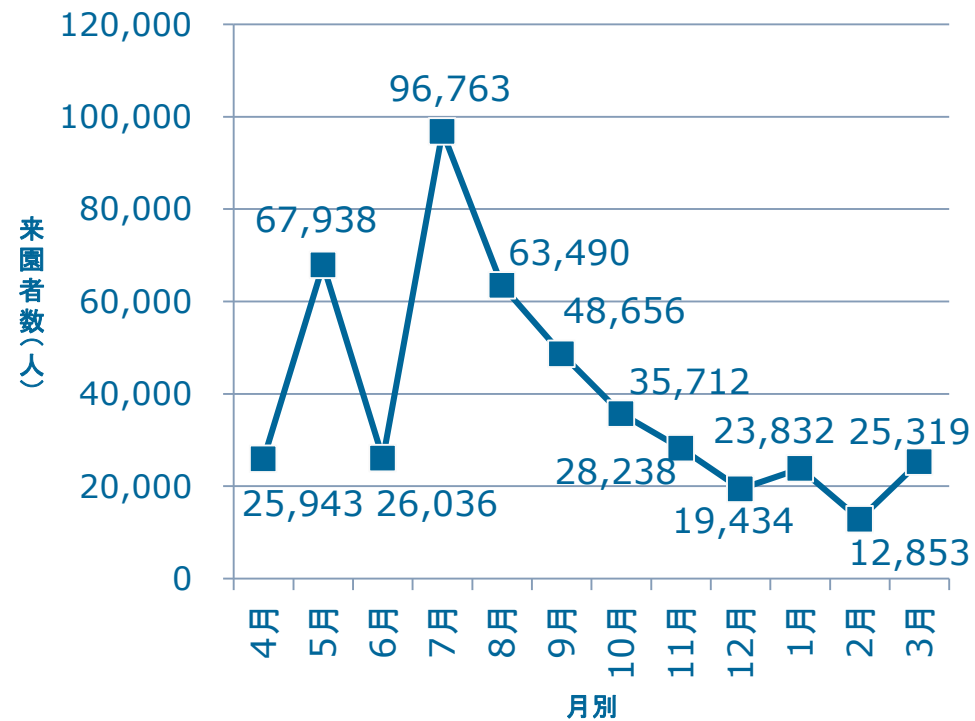
※H30年度は台風による園内閉鎖があり、利用者数が減少

※R2度は、コロナにより運動施設が閉鎖(4/8～5/15)

来園者数の推移(年度別)



来園者数の推移(R1年度:月別)



住之江公園

公園の管理上の課題

◆便益施設の不足

○園内の売店は期間限定で、常設の売店や食堂がなく、府民ニーズに答えられていない

<期間限定売店>

- ・プール売店
- ・野球場付属売店

◆放置自転車対策

○公園南口周辺への放置自転車が多く発生し、景観上・安全性から課題となっている

→指定管理者により放置自転車の自主回収を継続的に実施

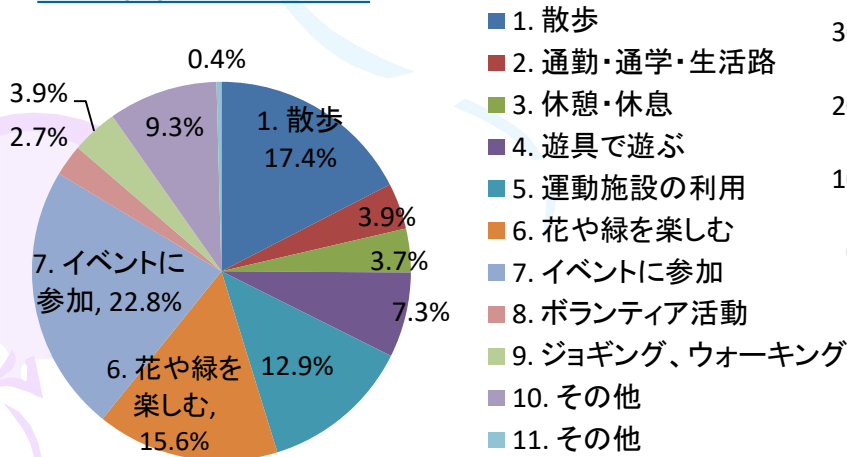
◆イベント等による活性化

○都市部という立地を活かし、イベント等による活性化を図る

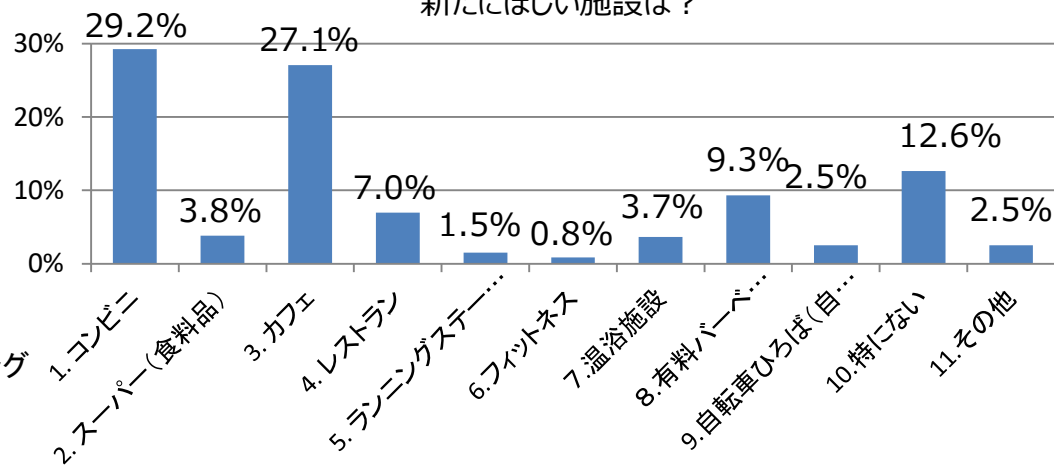


公園満足度調査結果(令和元年度実施)

○公園の利用目的



新たにほしい施設は？



岸和田土木事務所管内の府営公園

- 市街地部に立地
- 郊外部に立地
- 山麓部に立地
- 臨海部に立地

